

性と生の学習

思春期の子どもたちに科学的な性教育を

人とのかかわり方

自己決定・同意について

岸和田東ロータリークラブ例会

2024年5月10日

性教育⇒性 と 生 の 学習

性

生

小

生

こころ + からだ



いのち

科学・人権・自立・共生

自分を大切に

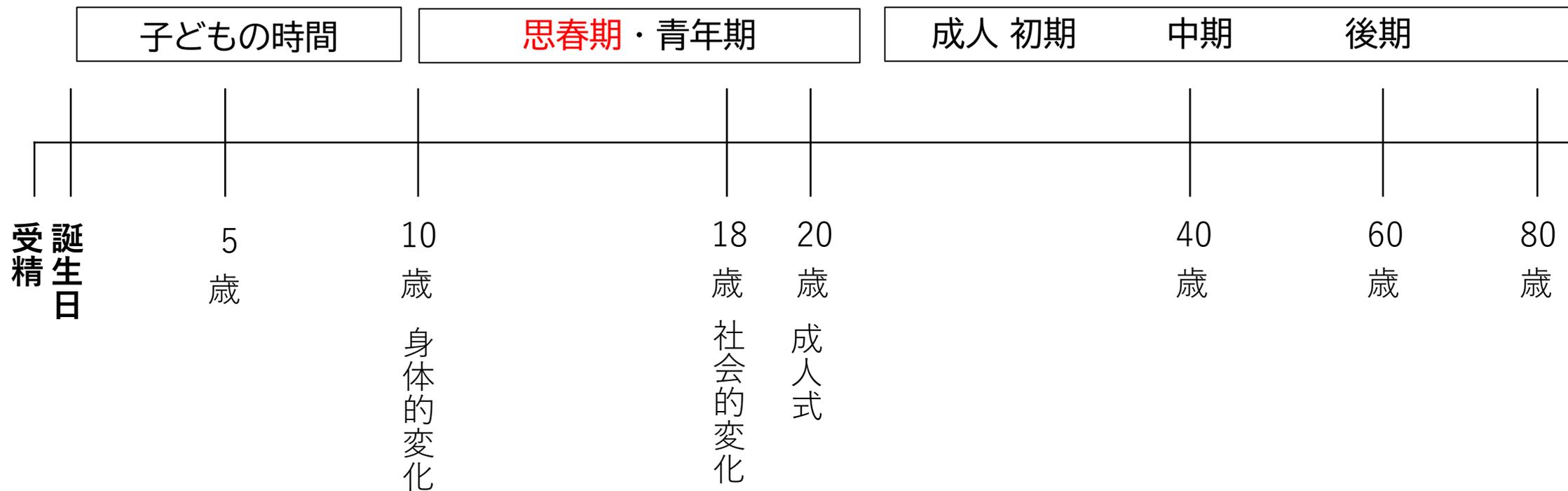
人を大切に

生きる

つながり

生き方

人生テープ



- からだ
- こころ
- つながり
- 社会的責任

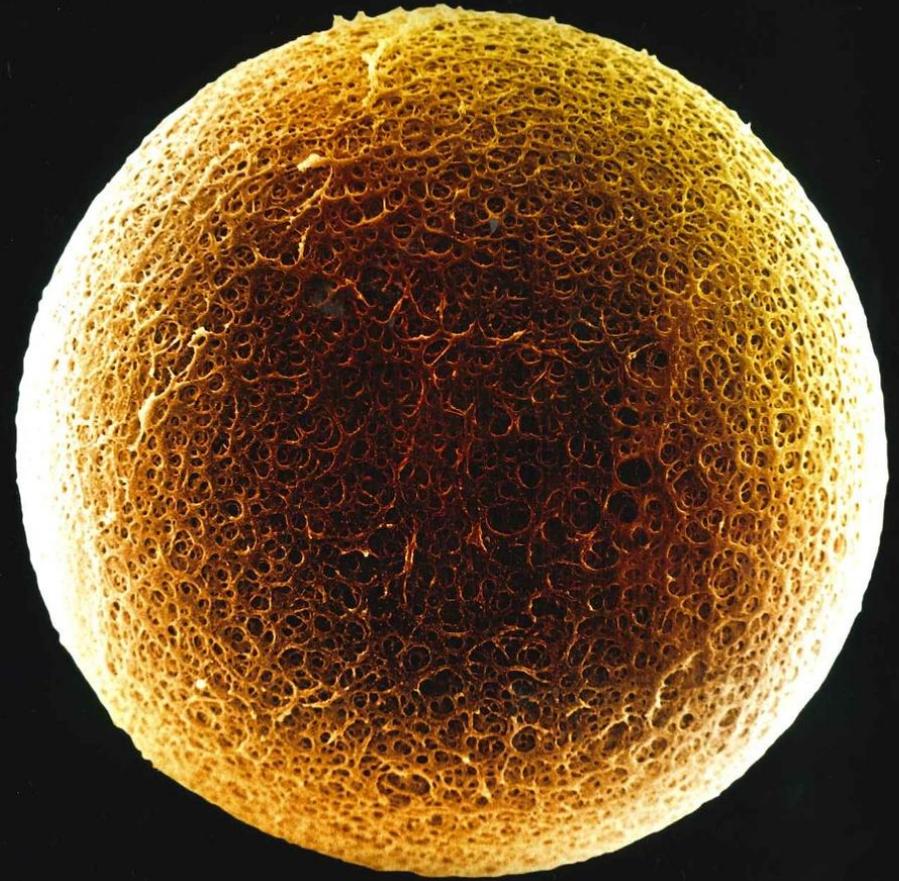
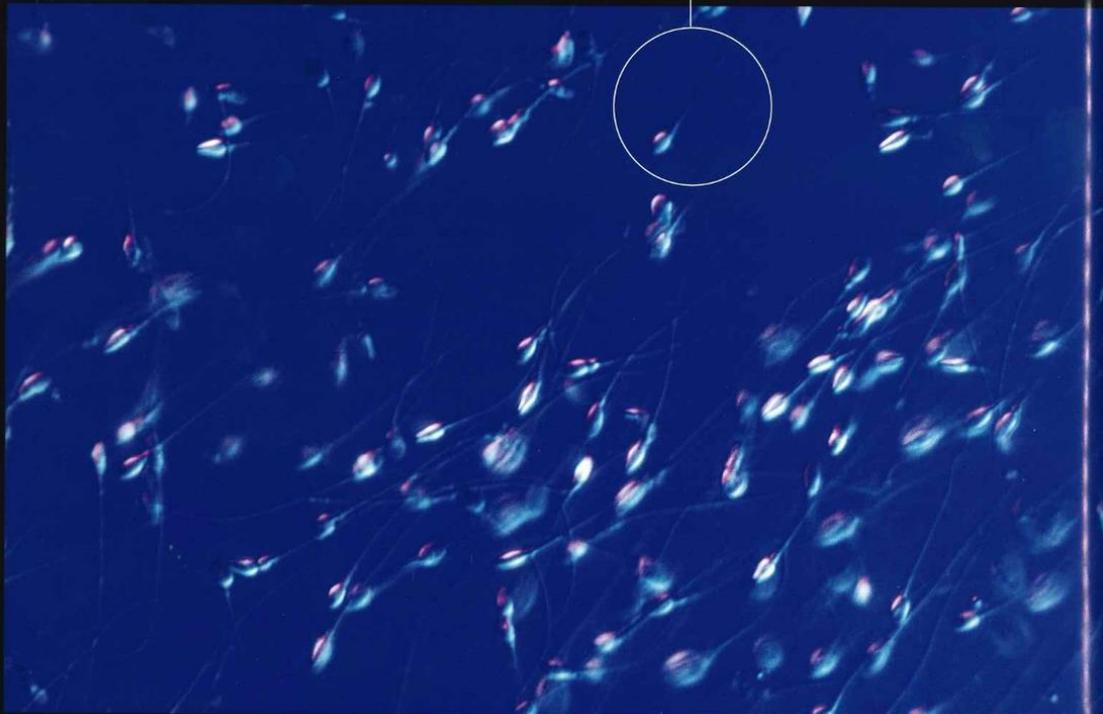
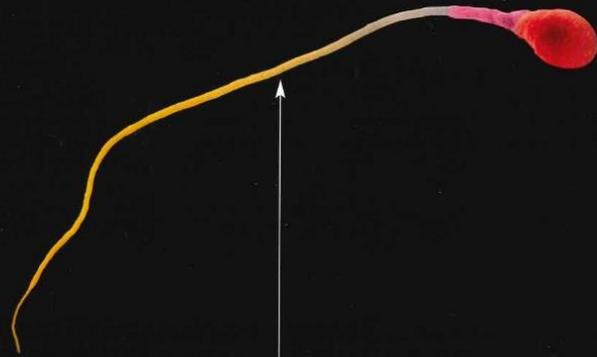
> 個人差が大きい

出会い

精子と卵子

～精子～

「人間」の始まりは、1つの「精子」と1つの「卵子」です。「男性の精子」と、「女性の卵子」との出会いが「人間」を誕生させるのです。「精子」の大きさは約0.05mmほどです。



～卵子～

卵子の大きさは、直径約0.11～0.15mmほど。寿命は精子が約3～5日間なのに対して、卵子は約8～24時間と短命です。子宮の両側にある卵巣でつくられる卵子は、月に1度卵巣の外に飛びだし、卵管にとりこまれます。このときに、精子と結合すれば受精卵となり、結合しなければ子宮内膜とともに、月経として外に排出されます。

「赤ちゃんが生まれる」

金の星社

そのとき

受精の瞬間

～受精～

射精された約3億の精子は、卵子を目ざしていっせいに泳ぎはじめます。膣や子宮内で大半の精子が力つきで死んでしまう中、いくつもの難関を突破した精子のたった1つだけが、卵子の中に入れるのです。精子が卵子の中に入った瞬間、両者の染色体が合わさって、1つの新しい細胞になります。これが「受精卵」です。

1つの精子が卵子の膜をつきやぶり、結合した瞬間、卵子はほかの精子の侵入をはばむように、バリアの膜をはります。しめだされた精子は、数日間受精卵のまわりにとどまりますが、寿命をむかえ、死んでしまいます。



「赤ちゃんが生まれる」

金の星社

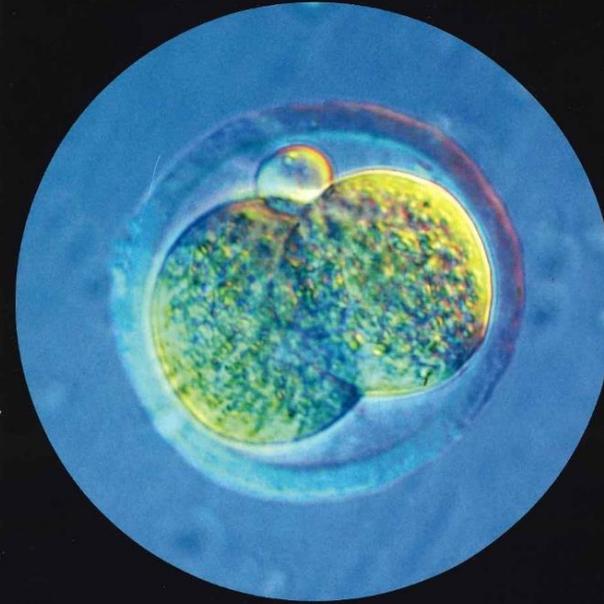
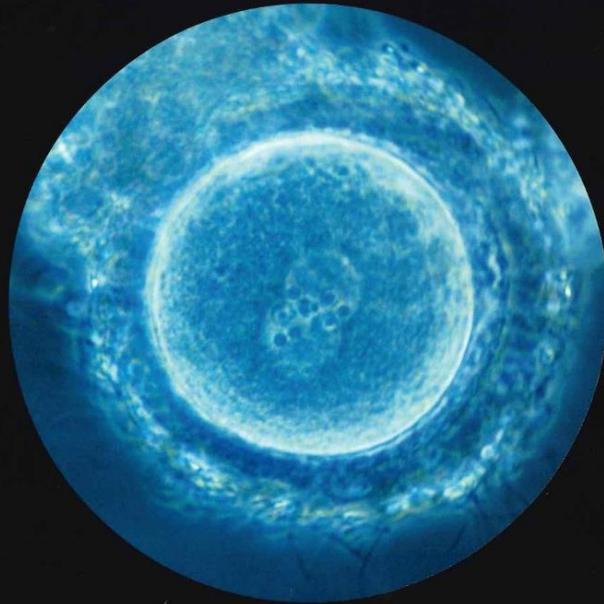
生命のダンス

受精卵の細胞分裂

受精直後から、受精を感じた脳からの指令を受けて、受精卵は変化を続けます。受精卵は卵管の中をゆっくり回転しながら、赤ちゃんの育つ子宮へと向かいます。この回転は「生命のダンス」と呼ばれています。受精卵は回転しながら、2細胞、4細胞、8細胞と分裂をくりかえし、1週間かかって子宮に到着、子宮内膜にうまります。これが着床です。このときの細胞は百数十に増えています。

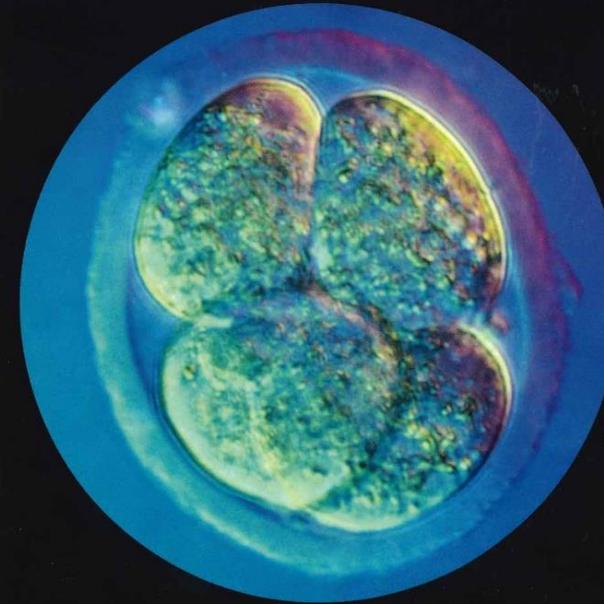
～受精卵～

精子の中にあった男性の23本の染色体と、卵子の中にあつた女性の23本の染色体が合わさり、46本の染色体をもつた1つの受精卵ができます。男性の染色体の中の性染色体によって、受精の瞬間に性別が決まります。



～2細胞期～

受精から24時間以内に、同じ染色体をもつた2つの細胞になります。ここで受精卵が完全に2つに分かれると「卵性双生児」になります。



～4細胞期～

2つの細胞がさらに4つの細胞になります。受精から3日ほどたつころには受精卵は16以上の細胞に分かれます。その見た目が桑の実に似ているので、桑実胚と呼ばれます。

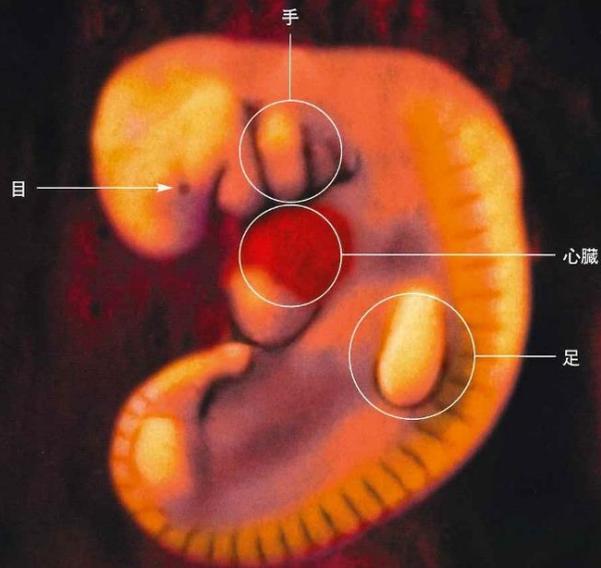
「赤ちゃんが生まれる」

金の星社

変化

胎芽の時期

子宮に着床した受精卵は、子宮内膜から栄養をもらいながら、細胞分裂をくりかえし、細胞数が16くらいになると、胎芽と呼ばれます。1つだった細胞が、芽、脳や手や足、内臓になる細胞へと、分化しはじめるのが胎芽の時期なのです。人間の体の基本構造が小さな胎芽に、はっきりと記されていきます。



～受精後28日目～

目や手足となる部分に溝ができ、はっきりとそれと認識できるようになります。写真の赤いところは心臓です。



～受精後36日目～

心臓は全身に血液を送りはじめます。また、血液をろ過する腎臓もつくられます。



～受精後48日目～

このころからほかの内臓器管もつくられはじめ、胎芽から胎児と呼ばれるようになります。

「赤ちゃんが生まれる」

金の星社

へその緒の役割

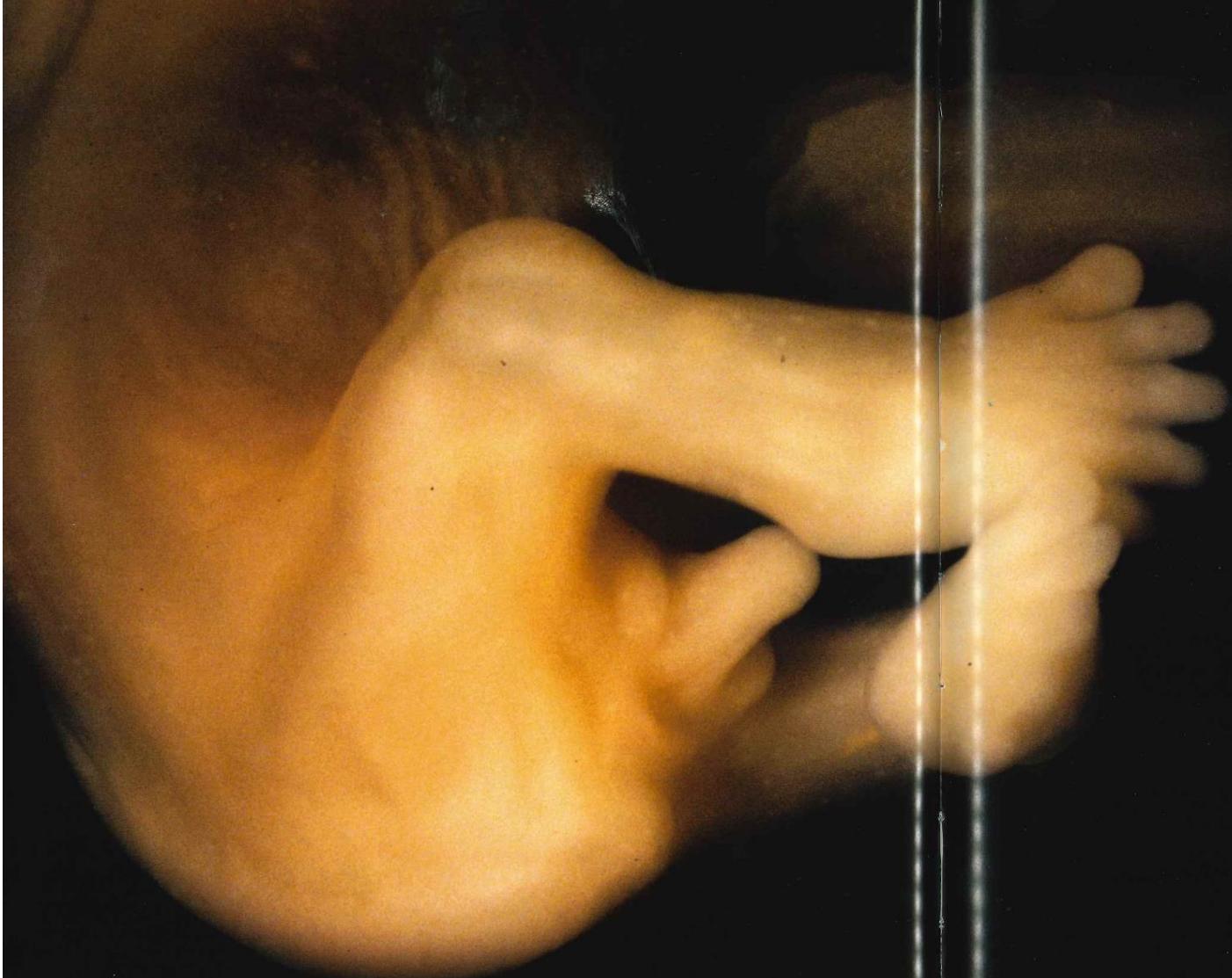
～受精後9週目～

着床した受精卵は、胎児を形成するのと同時に、胎盤とへその緒もつくります。胎盤は母親の子宮にくっつき、へその緒を通して母親から栄養と酸素が詰まった血液を胎児へと送ります。そして、胎児が出した二酸化炭素やいらなくなったものを母親の体内にもどします。出産まで胎児の栄養は、すべてこの胎盤とへその緒を通して送られます。へその緒は、まさに母体と赤ちゃんをつなぐ命づなの役割を果たしているのです。



「赤ちゃんが生まれる」

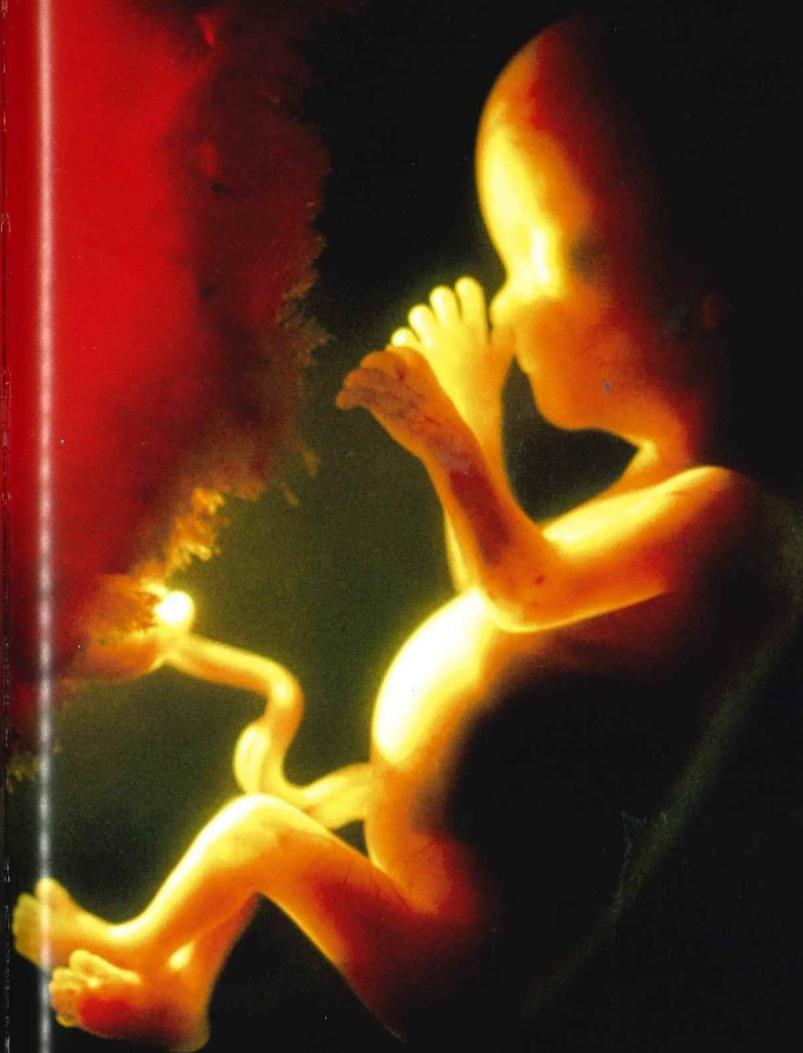
金の星社



性器の出現

～受精後10週目～

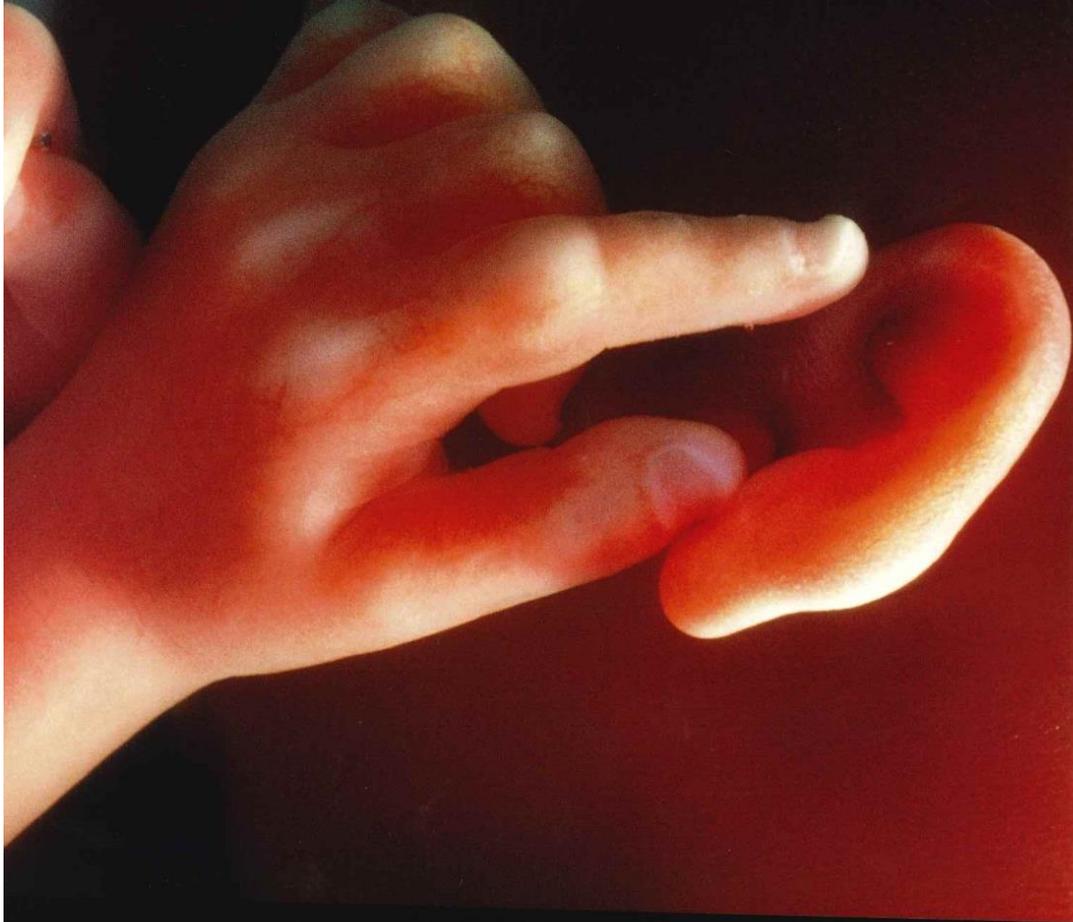
胎児の性別は受精した瞬間に決まりますが、受精後5週目ころまでは、性器に男女の区別はありません。受精後9週目ころから少しずつ変化し、受精後11週目をすぎるところから、ちがいがはっきりしてきます。



胎盤の完成

～受精後4か月目～

受精後4か月目になると、急激に体が成長します。頭が小さくなり、ひじやひざの関節もわかるようになり、バランスがとれてきます。指には指紋まで見られます。少しずつ手足を動かしますが、まだ母親が胎動を感じるほどではありません。この時期、母子をつなぐ胎盤が完成します。



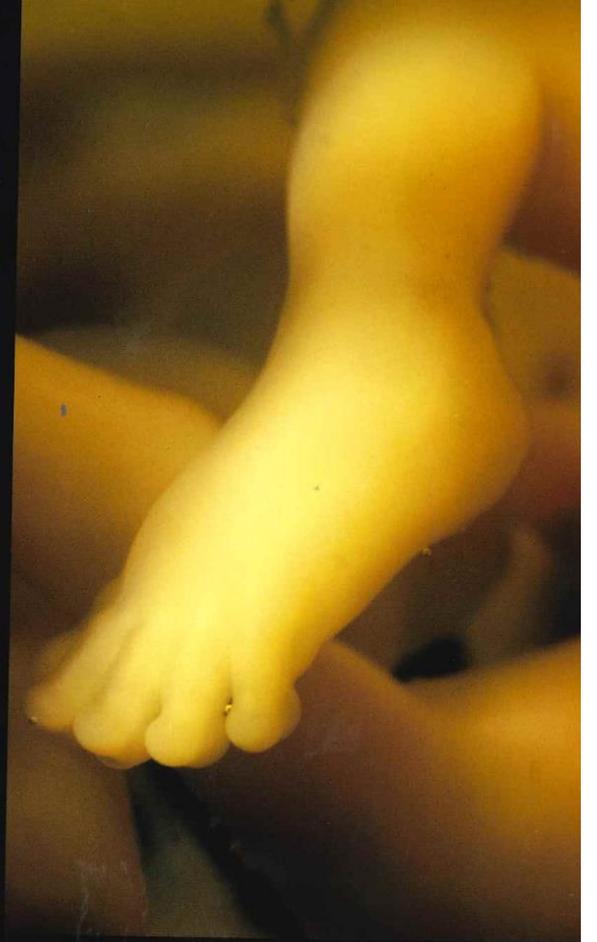
音への反応^{ほんのう}

～受精後6か月目～

このころには、すべての内臓器官が完成します。また、聴覚もほぼ完成し、子宮の外でしている音も聞こえています。外から声をかけると、その声にこたえるように子宮をけて反応することもあります。



手、足の指にあるつめは、ほぼ完全にできあがっています。



手足が成長し、子宮の中がせまくなってきたため、胎児は足を折りたたむようなポーズをとります。

「赤ちゃんが生まれる」

金の星社

いのち

あのね

自分にとって

一番大切なものは

自分のいのちなんです。

だから

すべての他人の

いのちが

みんな大切なんだよ。

みつを



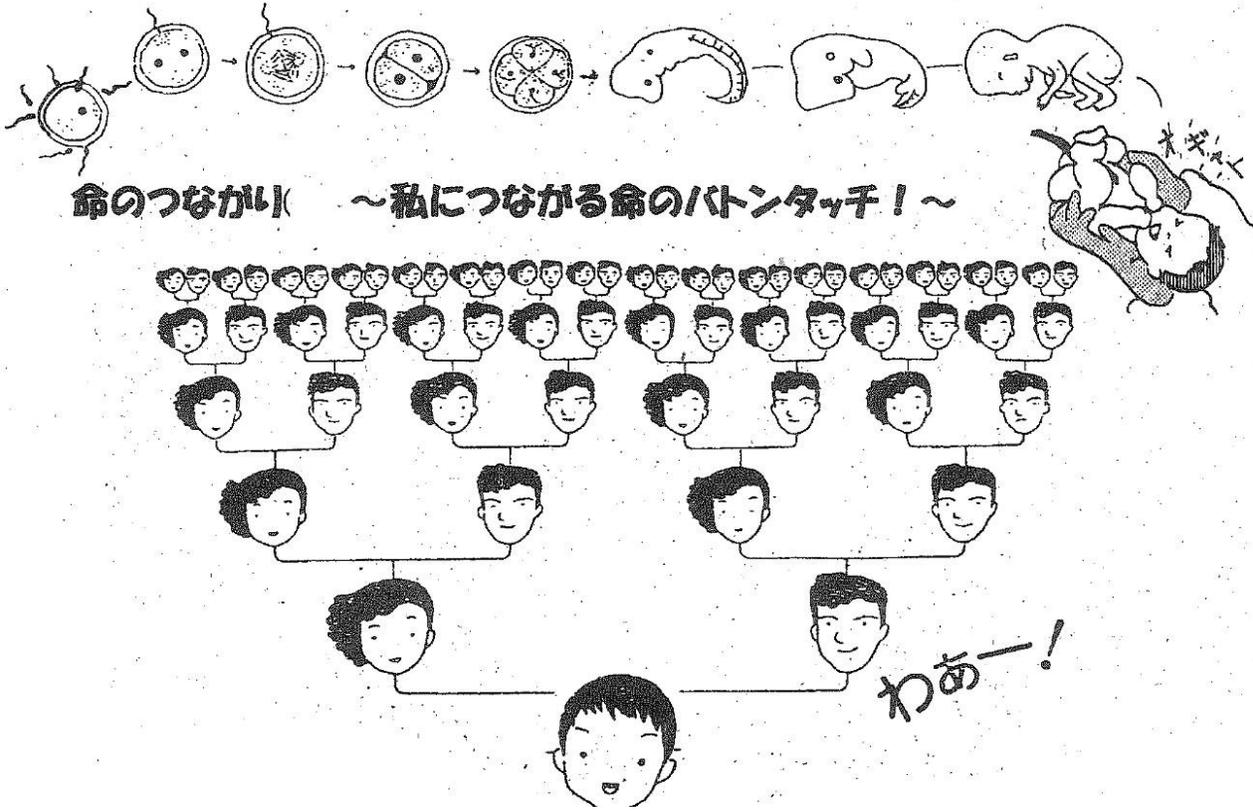
one's life

you know,

the most important to you is your own life!!

So, the life of all other people is important

命のつながり



自分の番
にのちのバトンを

父と母で二人
父と母の両親で四人
そのまた両親で八人
こうしてかぞえてゆくと
十代前で千二十四人
二十代前では一百万人
なんと一百万人を越すんです

過去無量
にのちのバトンを

自分が
あなたのにのちのバトン
にのちのバトン
にのちのバトン
にのちのバトン

わあー!

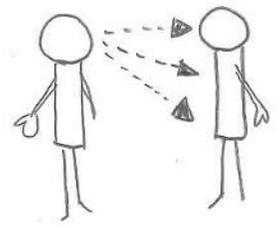
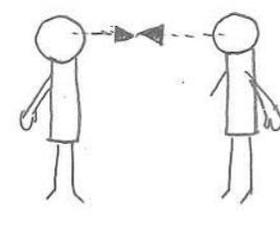
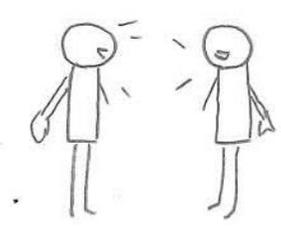
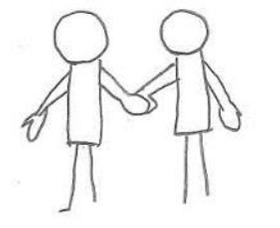
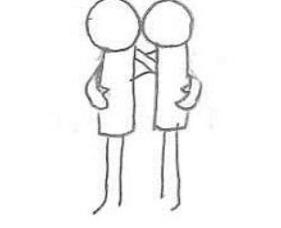
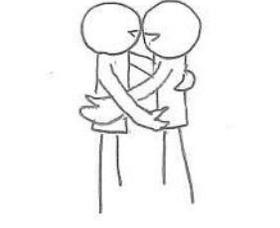
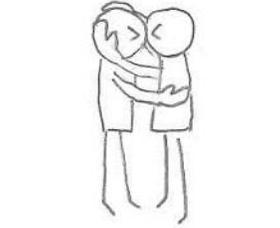
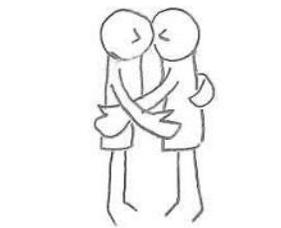
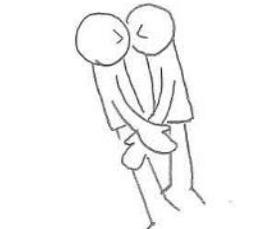
CONSENT

for

KIDS

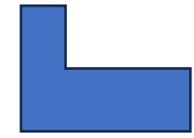
ふれあいの (親密さ) 12段階

行動科学者デズモンド・モリス

<p>1. ^め目から^{からだ}からだ</p> 	<p>2. ^め目から^め目</p> 	<p>3. ^{こえ}声から^{こえ}声</p> 
<p>4. ^て手から^て手</p> 	<p>5. ^{うで}腕から^{かた}肩</p> 	<p>6. ^{うで}腕から^{こし}腰</p> 
<p>7. ^{くち}口から^{くち}口</p> 	<p>8. ^て手から^{あたま}頭</p> 	<p>9. ^て手から^{からだ}からだ</p> 
<p>10. ^{くち}口から^{むね}胸</p> 	<p>11. ^て手から^{せいき}性器</p> 	<p>12. ^{せいき}性器から^{せいき}性器</p> 

- 性交は人と人がおつきあひするときの行為で一番深いかかわり方⇒相手の**同意が必ずいる**

思春期：二次性徴をした体の男女が性交をすることは**妊娠につながる**

 **新しい命の誕生**

性交 → 受精 → 妊娠 → **つながる行為**



選択・決定

産む(育てられるのか)・産まない(育てられないのか)

一度同意しても嫌な時は**NO(ノー)** と言っていい

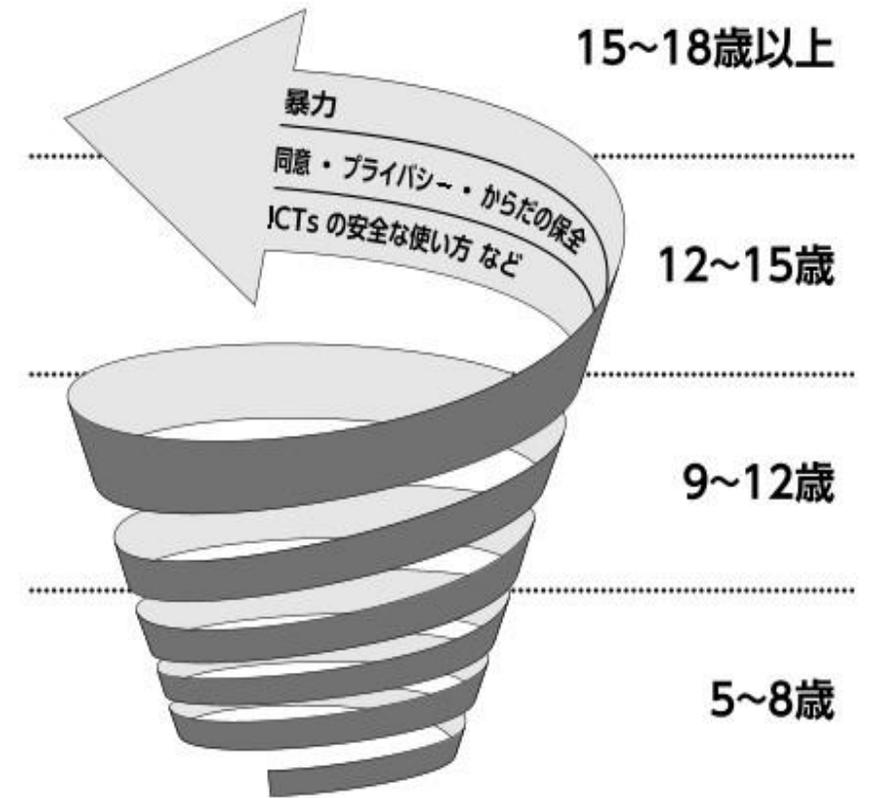
CONSENT

IT'S SIMPLE AS TEA

生きる力を育てる

- からだ⇒健康・安全
- こころ⇒自立・意思表示
- つながり⇒同意・自律
- 社会的責任⇒安心して暮らせる社会の一員

* 幼児期からの日常生活での経験練習が重要



白梅学園大学講師、性教協代表幹事、『季刊セクシュアリティ』編集長 水野哲夫氏作

中学生時代に学んでほしいこと

- * 予期しない妊娠の予防のための知識
- * 対等な人間関係の構築
- * 自己決定とNOを言う力
- * SOSを出す力、SOSに気づく力

こころにとめている言葉

ヒトの体は食べたものでつくられる。
人の心は聞いた言葉でつくられる。
人の未来は発した言葉でつくられる。

